

横田基地における人員降下訓練の実施について（口頭要請）

令和3年2月1日、北関東防衛局を通じて、横田基地広報部からの情報として、横田基地における人員降下訓練の情報提供がありました。日の出町ではこれまでも、訓練情報の早期提供を求めてきたところですが、再び当日の訓練日程開始後の情報提供となりました。

横田基地における人員降下訓練については、昨年も訓練中に事故が複数件発生しており、多くの周辺住民に不安を与えています。

については、人員降下訓練の実施に当たり、周辺住民への配慮について十分に認識されるよう次の通り要請します。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在宅勤務を含む外出自粛、換気のための窓の開放等、周辺住民は新しい生活様式への移行や自粛生活の長期化による様々な不安やストレスを抱えていることから、周辺住民に最大限の配慮願います。

- 訓練情報については、周辺住民への周知の徹底、不安軽減のため、訓練直前ではなく早期の提供を徹底すること。
- 市街地上空での低空・旋回飛行訓練は行わないこと。
- 訓練従事者に対して、安全の重要性を認識されるとともに、基地外に影響を及ぼさないよう、安全対策に万全を期すこと。特に、使用する航空機及びパラシュート、装備品等の使用機材などの安全確認は徹底して行うこと。
- 必要最小限の機数及び人員での訓練を実施すること。

令和3年2月2日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官  
アンドリュー J. キャンベル大佐 殿

日の出町長 橋本 聖二